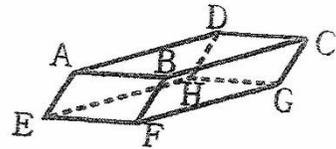


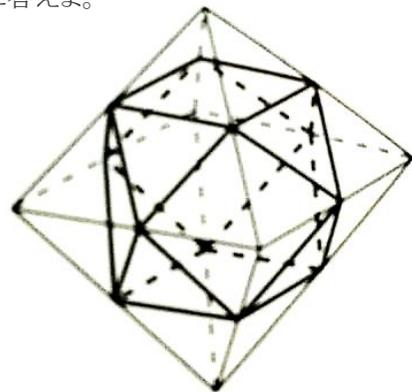
1. 右の平行六面体において、次のものを求めよ。

- (1) 辺 AB に平行な辺
- (2) 辺 AB とねじれの位置にある辺



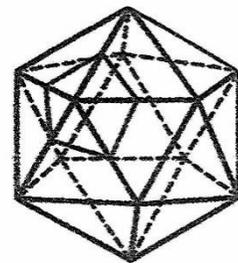
2. 右の図のように正八面体の各辺の中点を通る平面で 6 個のかどを切り取った多面体について、次の問いに答えよ。

- (1) 頂点の数 v
- (2) 辺の数 e
- (3) 面の数 f
- (4) $v - e + f$ の値

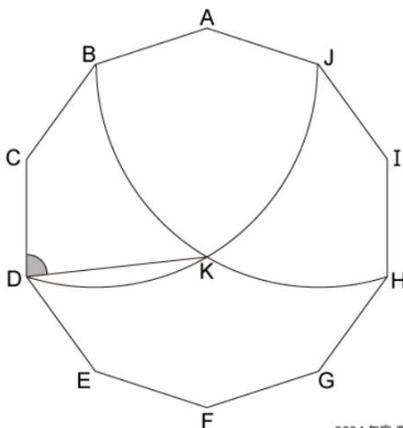


<Challenge!!>

①正二十面体の各辺の中点を通る平面で、すべてのかどを切り取ってできる多面体の面の数 f 、辺の数 e 、頂点の数 v を、それぞれ求めよ。



<角度問題>



正十角形 ABCDEFGHIJ があります。図のように点 B を中心とし、点 D を通る円の弧 DJ と、点 J を中心とし、点 B を通る円の弧 BH の交わる点を K とします。このとき、角 CDK の大きさは何度ですか。

類 題

リード問題集 A

1. P.87-1

2. P.90-1 2

※配点 ①～⑫ 各 0.5 点	⑪ ダンガイ裁判所を設ける	⑨ 夜をテツして救助活動が続いた	⑦ 熱カソ性のある物質	⑤ 優れたドウサツカの持ち主だ	③ しばしケイセイに耳を傾ける	① ユウキユウの宇宙に思いを馳せる
	⑫ バツを受ける	⑩ 大規模なチカク変動	⑧ 食品の価格がノキナミ上昇した	⑥ 古文書をヒケンする	④ 不要な個所にシヤセンを引く	② マコトに感謝するごドウケイの至りです
得点						

漢検準2級 漢字テスト 44 氏名

次の文のカタカナを漢字に直せ。(送り仮名もかく)



1. 2直線の位置関係【各4点】

- (1) 辺 DC, 辺 HG, 辺 EF (2) 辺 DH, 辺 CG, 辺 EH, 辺 FG

2. 多面体 【各3点】

- (1) $v=12$ (2) $e=24$ (3) $f=14$ (4) $v-e+f=2$

<Challenge!!> (各+3点)

① $f=32, e=60, v=30$

正二十面体は、各面が正三角形であり、1つの頂点に集まる面の数は5である。したがって、正二十面体の

辺の数は $3 \times 20 \div 2 = 30$

頂点の数は $3 \times 20 \div 5 = 12 \dots\dots$ ①

次に、問題の多面体について考える。

正二十面体の1つのかどを切り取ると、新しい面として正五角形が1つできる。

①より、正五角形が12個できるから、この数だけ、正二十面体より面の数が増える。

したがって、面の数は $f=20+12=32$

辺の数は、正五角形が12個あるから

$e=5 \times 12=60$

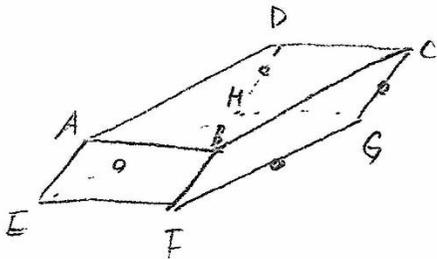
頂点の数は、オイラーの多面体定理から

$v=60-32+2=30$

⑪ ダンガイ裁判所を設ける	弾効	⑨ 夜をテツして救助活動が続いた	徹	⑦ 熱カソ性のある物質	可塑	⑤ 優れたドウサツカの持ち主だ	洞察	③ しばしケイセイに耳を傾ける	溪声	① ユウキユウの宇宙に思いを馳せる	悠久
⑫ バツを受ける	罰	⑩ 大規模なチカク変動	地殻	⑧ 食品の価格がノキナミ上昇した	軒並み	⑥ 古文書をヒケンする	披見	④ 不要な個所にシャセンを引く	斜線	② マコトに感謝するゴドウケイの至りです	同慶

$$\left. \begin{array}{l} (1) AB \parallel DC \\ AB \parallel EF \\ DC \parallel HG \end{array} \right\} \rightarrow \underline{\underline{\text{辺} DC, \text{辺} EF, \text{辺} HG}}$$

(2) 対角線 \Leftrightarrow 平行四辺形 \Rightarrow 交点が対角線の



\leftarrow 図より
辺EH, 辺FG, 辺DH, 辺CG

2 (正八面体 $n=7$ $v=6, e=12, f=8$)

(1) 頂点は正八面体の辺の中点から。
正八面体の面数は等しい。

$v=12$

(3) 面の数

切断面は正方形 $\rightarrow 6$ (正八面体の頂点数)

残った正八面体の面は正三角形 $\rightarrow 8$ (正八面体の面数)

$f = 6 + 8 = 14$

(2) 辺の数 (2つの面の間に2辺あり)

$e = \frac{4 \times 6}{2} + \frac{3 \times 8}{2} = 24$

(3) $v - e + f = 12 - 24 + 14$

$= 2$ (オイラーの多面体定理)

<正八面体 $n=7$ >
 $f=8$ (正三角形)
 1つの頂点に4つの面が
 集まる。
 $v = \frac{3 \times 8}{4} = 6$
 辺は2つの面の間
 $e = \frac{3 \times 8}{2} = 12$